

総合実践演習 (1単位)

担当者氏名 宮本 太・浅野房世・小川 博・大石孝雄・林 良博・山口裕文・安藤元一・土田あさみ・増田宏司・佐々木 剛・三井裕樹

◆学習・教育目標

バイオセラピー学科で開講されている講義、実験・実習・演習等について、教員の指導の下、課題の設定、教材の準備、講義等に補助的に参加し、その内容についてレポートを作成、改善点等について教員と討議する。このことにより教育者あるいは指導者としての資質を養う。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

野生動物学 伴侶動物学 植物共生学 人間植物関係学
動物介在療法学 植物介在療法学 人間動物関係学

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	授業の進め方	演習のねらい、実施方法、提出物、評価方法等	補助する授業のシラバスを熟読し、教育目標を理解しておくこと。
2	担当授業内容の理解	補助をする授業の内容について把握する	
3	教材の準備	補助をする授業の資料等の準備の補助	
4	授業の補助 (1)	専攻教員が指定または認定する授業の補助を行う。	
5	授業の補助 (2)	授業終了後毎回レポートを提出し、各授業時間の改善点を教員と討議する。	
6	授業の補助 (3)		
7	授業の補助 (4)		
8	総合討議	授業の成果、改善点等について討議する	
9	総括	まとめ	
10			
11			
12			
13			
14			
15			

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）
 / / ()

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）
 / / ()

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

累計8コマ以上授業の補助を体験した場合、評価の対象とする。提出されたレポート、討議内容を評価する。

◆その他受講上の注意事項

本講義による授業の補助は、ティーチングアシスタントとしての給与の対象としない。

